

まちの話 だい

12月20日 | 新年を迎える戌親子

大代地区の地域づくりグループ「王子田会」が、年末恒例の「ジャンボ干支」を制作しました。

11月下旬から約10日間かけて作り上げたのは、今年の干支である「戌」の親子3匹。会員13人が、地元の間伐材や竹で作った骨組みに、親犬はわらで、子犬は杉の葉で覆って完成させました。年賀状用の写真撮影などに大人気のジャンボ干支は、2月末まで展示される予定です。



1月4日 | 地域の防災にまい進

消防団員や消防職員約550人が参加し、「島田市消防団出初式」が行われました。

プラザおおりのでの表彰式の後、市役所駐車場に団員たちが一堂に会し、観閲式を開催。続く恒例のパレードでは、市役所からJR島田駅前までを行進する団員の一条乱れぬ動きにと、勇壮な消防車両約20台の姿に、沿道に集まった市民からは大きな拍手が送られました。

トピックス

2017年度「現代の名工」に選出



厚生労働省の2017年度「現代の名工」に、石彫工の村田善彦さん(島)が選出されました。

村田さんは、主に神社仏閣の石造物や地蔵などの制作を手掛け、石材本来の味を引き出す手仕事にこだわり続けています。11月22日、染谷市長へ受賞の報告に訪れ「石工の仕事は、永久的に残る仕事。何百年も人の目に触れることがやりがいになっている。受賞を励みに、自分の持つ技術を伝えていきたい」と喜びを語ってくれました。





1月1日 | 健康を祈念して走り初め

鳥田市の風物詩ともいえる新春恒例の「2018 みんなで走ろう!元日マラソン」が大井川マラソンコース・リバティで開催されました。

41回目となる今年も晴天に恵まれ、友達同士や家族連れなど2,500人以上が参加。ランナーたちは、新たな年の健康と幸せを祈念し、2・5・10 kmの部に分かれてそれぞれのゴールを目指し、爽やかな汗を流しました。

12月3日 | 茶の魅力が川根に集結

お茶にちなんだ料理やサービスが楽しめる、一日限定イベント「茶ービスエリア」が、道の駅「川根温泉ふれあいの泉」にオープンしました。

地元の茶関連業者の出店ブースでは、お茶を使用したハンバーガーやスイーツなどが販売され、限定カフェ「スチャパ」も多くの来場者でにぎわいました。また、小学生がお茶の知識を競う「T-1 グランプリ」も川根地区で初めて開催されました。



12月22日 | 地域で伝える和文化

鳥田北中学校で、全校生徒参加の「門松づくり大会」が開かれました。同大会は、生徒たちに日本の伝統行事に関心を持ってもらい、地域との交流を図ることを目的に、30年以上続いています。

材料となる熊笹やウラジロは、老人会や地域住民が調達。老人会メンバーの手ほどきで生徒たちが完成させた門松60個は、市役所などに寄贈されたほか、「しまだ元気市」でも販売されました。